

劇団文化座公演

【原作】乃南アサ『しゃぼん玉』（新潮文庫刊）

【作】齊藤祐一 【演出】西川信廣

出演

佐々木愛

津田二郎

青木和宣

藤原章寛

小川沙織

他

俺はただ、生きてるだけのしゃぼん玉だ……。
どこかに着地しようとするれば割れちまう、
誰かに触れれば壊れて消えてしまおう、しゃぼん玉……。

題字・本橋佳園

2021年2月観劇会 劇団文化座 『しゃぼん玉』

日時：2月17日（水）19:00 2月18日（木）12:30

会場：カナモトホール（札幌市民ホール 北1条西2丁目）

※新しいサークルを作って入会すると入会金無料！ 【主催・お問合せ：札幌えんかん TEL011-241-7081】



しゃぼん玉

原作◎乃南アサ『しゃぼん玉』
 (新潮文庫刊)
 作◎斉藤祐一
 演出◎西川信廣

STORY

幼い頃から肉親の愛情に恵まれず、周りに誰一人頼る者もない孤独な青年・伊豆見翔人(藤原章寛)は、アパートも追われ、生きるために見知らぬ町でひったくりや強盗傷害事件を起こしては、ヒッチハイクの逃亡生活を続けていた。

「坊っ……坊っ……」ある日、彼は山中で怪我を負ってうずくまる老女スマ(佐々木愛)と出逢う……。

そして、平家の落人伝説がまことしやかに語り継がれる、宮崎県の辺境・椎葉村の小さな軒家で、翔人とスマの奇妙な共同生活が始まったのだった……。

藤原章寛

CAST

佐々木愛 津田二郎 青木和宣
 高村尚枝 小谷佳加 高橋美沙
 瀧澤まどか 藤原章寛 兼元菜見子
 小川沙織 田中孝征

STAFF

美術: 乗峯雅寛 照明: 塚本悟
 音響: 齋藤美佐男 音楽: 上田亨
 衣裳: 岸井克己 擬斗: 渥美博
 舞台監督: 鳴海宏明 制作: 中山博実

◎初演舞台感想より抜粋

思春期の挫折のなかで犯罪へと至った〈非行のある少年〉の背景には、家族崩壊などともなう〈要保護性〉と呼ばれる深刻な問題が伏在します。そのような〈非行のある少年〉の〈要保護性〉を軽減し解消するためには、『しゃぼん玉』のような大自然、労働と収穫の喜び、よく食べよく眠る生活、とりわけスマ婆、シゲ爺と翔人のような人間的な交流(疑似的な家族)が必要であり、それが〈非行のある少年〉の立ち直り支援にきわめて有効であることが実証されていますが、成人後に〈犯罪を繰り返す若年成人〉に対してはどのようなのでしょうか？

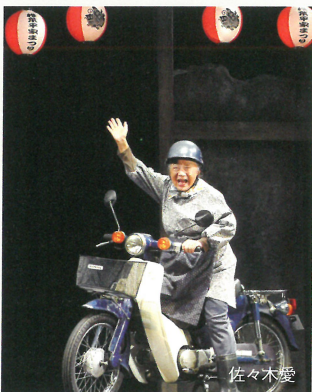
『しゃぼん玉』は、それに対する一つの答えを示しています。

若穂井透(弁護士)

今の若者は非正規が40%近いという世の中で、生きづらさに困惑している。今、小中学校あわせて不登校が13万人以上、高校生は5万人弱いるんですよ。世界の中でこんな国ないですよ。18万人が美しいものと出会う、心ときめかす未知との遭遇が出来る時代に引きこもらなければならない。大人になっても長時間労働で閉鎖的な世界にいて、お芝居なんかも観に行かれない。

こうした時期に、何を生きるときの基底にするかというのを示した作品を出したというのは、すごい意味があるなと思いました。(談) 金森俊朗(教育評論家)

(中)高村尚枝 (右)瀧澤まどか



佐々木愛

小川沙織



津田二郎

舞台写真:坂本正郁

すべてを包み込むようなおらかな老婆スマを演じた佐々木愛、そして若者特有の心の内面を繊細に表現した藤原、小川の清新な演技が心に残る。演劇には人々を励ましたり、勇気づけたりする役割がある。

昨今の殺伐とした世相の中、その“演劇の力”を示した舞台だった。

山田勝仁(演劇ジャーナリスト)

【入会のご案内】

会費を1年間積み立て、その会費で様々な演劇を定期的に(年6本)鑑賞している会員制の市民団体です。会費だけで運営しているので「観劇料」は不要です。一般券・当日券はありません。三人以上のサークル(グループ)を組んで入会するか、お知り合いのサークルにお入りください。入会金/1,500円 月会費/大人2,800円・学生2,000円・中高生1,000円(三人揃わない場合はご相談を。)

【これからの観劇会】

4月 戦国TAPミュージカル
 『TAKEDA』
 作・演出/赤堀二英
 振付/HIDEBOU
 6月 エイコーン 『松井須磨子』
 出演/栗原小巻 ピアノ/城所 潔